

2022年8月24日

各位

丸亀市みなと公園でパークレットを設置した社会実験を実施

四国化成工業㈱〔本社：香川県丸亀市、代表取締役社長 兼 C.E.O.：田中直人〕は、香川県丸亀市、国立大学法人香川大学、株式会社HYAKUSHOと連携し、丸亀市みなと公園にて屋外公共空間活用を目的とした社会実験を実施いたします。

社会実験は、丸亀駅の北側に位置する「みなと公園」とその周辺にて実施いたします。みなと公園周辺に当社が現物寄付するパークレットを設置するほか、瀬戸内国際芸術祭の秋会期中の土日のうち6日間にはイベントを開催し、丸亀にちなんだ食の提供や体験イベント、道路空間の芝生広場化を実施する予定です。イベントの詳細については、9月20日に現地にて発表いたします。

みなと公園は丸亀駅と丸亀港の間に位置しており、瀬戸内国際芸術祭の秋会期開催地である本島から丸亀港に帰ってきた人々が、まっすぐ帰るだけでなく「せっかくだから少し寄り道しようか」という気持ちになれるような場所にしています。今回の社会実験を通じて観光客・地域住民のニーズや集客効果を検証し、今後の丸亀市の賑わいづくりにつなげることを目的としています。

4者連携に至った経緯は、2020年に丸亀市都市計画課、香川大学産官学連携統括本部に相談を行い、当社が目指す「居心地がよく歩きたくなる」まちなかづくりについて思いを同じくすることを確認したことが始まりです。その後、香川大学の尽力により、2021年6～9月には新設された企業・社会人向けのリカレント専門講座「パークレットを活用した賑わいあるまちづくり」を主宰いただき、社会的な意義やデザイン思考を含め総合的なご指導を受けました。さらに、まちづくりの専門家として、丸亀市の都市再生推進法人であるHYAKUSHOに参画いただきました。2022年2月9日には当社と丸亀市で「丸亀市の賑わいあるまちづくりに関する連携協定」を締結し、その後も4者がそれぞれの得意分野を持ち寄り、継続的に協議を続けてまいりました。

当社は新規事業としてパークレット事業を推進しています。現在、新しい都市づくりにおいて都市の魅力の向上を図る取り組みとして、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり（ウォーカブルなまちなかの形成）が国土交通省を中心に進められており、当社はパークレットを通じた空間プロデュースによりまちの賑わいづくりに取り組んでいます。

当社は2030年にありたい姿を示した長期ビジョン「Challenge 1000」を掲げ、その基本方針をお客様、従業員、株主に社会を加えた「四方よし」の実現としています。これからも社会と共に生きる企業として、当社の事業活動が地域社会の発展に貢献できるよう尽力してまいります。

以上

[パークレットのご紹介]

<https://shikoku-parklet.nurumori.com>

参考資料

① 4者による会見の様子



② 設置イメージパース (全景)



③ 設置イメージパース (パークレット)

